

【基本理念】
多様な主体と多世代が
つながる支え合いのま
ち多摩区

【基本目標1】
区民一人ひとりが
参加する地域づくり

【基本方針1】
情報提供の拡充 **重点**

【基本方針2】
地域で活躍する人材の育成

【基本方針3】
地域活動への支援

【基本目標2】

【基本方針1】

【基本方針2】

【基本目標3】

【基本方針1】

【基本方針2】

【基本目標1】－【基本方針1 情報提供の拡充】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和4年度)	取組状況に対する評価(令和4年度)	事業の達成度
【基本目標1】 区民一人ひとりが参加する地域づくり	【基本方針1】 情報提供の拡充	子ども子育て	<p>【地域ケア推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「多摩区地域子育て情報BOOK」を5,500部作成しました。 ◆多摩区内の子ども・子育て支援における様々な情報を「多摩区こそだてweb」へ掲載しました。 ◆子育てアプリによる情報発信を35回実施しました。 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆利用者へのアンケートの意見を基に地域の寺子屋情報、区内の季節行事、災害時の避難所など新たな情報等を加えて更新し、母子健康手帳交付時や乳幼児家庭の区内転入者、希望者及び区内の子育て支援者、関係機関、一斉改選後の民生委員児童委員全員に配布しました。子ども・子育て世帯にとって必要な支援も複雑化し、情報の収集・発信媒体も多様化しているため、区ホームページへの掲載など、必要な方に広く情報を提供できるように工夫しました。 	3 目標をほぼ達成
		1 子ども・子育てに関する情報提供	<p>【地域支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆母子健康手帳交付時や転入手続き来所時等に多摩区地域子育て情報BOOKを配布しました。 <p>【保育所等・地域連携担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆保育所等で実施している地域支援情報を掲載した「たまっ子ノート」を4,000部作成し、子育て中の親子に配布すると共に毎月の情報を「たまっ子カレンダー」に掲載し、HP等で最新の情報を届けるようにしました。 ◆子育て情報として年4回「子育てのワンポイント」を発行しました。また、子育てに有益な情報を提供するためHPで年4回更新、紙媒体においては区役所に配架するなどPRにも努めました。 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆多摩区地域子育て情報BOOKの掲載記事については、毎年、保健師、助産師、栄養士等によって内容を確認し、現状に即した情報提供を行い、地域における育児をサポートしています。日頃の支援場面等で保護者が情報BOOKの掲載記事を見て、相談機関に繋がるケースが多くあります。 <p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆孤立しがちな子育て世帯に育児のヒントとなるような情報提供を行うことで育児負担の軽減や外出するきっかけ作りになりました。 ◆毎月の情報発信については、公立保育所の発行する園だよりに重複する部分もあるため、HPで情報取得してもらえよう広報を工夫するとともに、「子育てのワンポイント」では季節ごとのトピックを掲載し、時期に見合った遊びの展開等ができるように活用を広げました。掲載した情報を実際の講座等で実施するなどし、分かりやすい情報提供につなげています。 	
		2 子ども・子育てに関する講座の開催	<p>【地域支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子どもとの関わり方に悩む親を対象に「ちゅーりっぷセミナー」を奇数月に開催しました。心理士から、実際に母児でふれあいながら家庭でもできるスキンシップを実践的に伝えたり、親子のスキンシップを深めることで日々の育児が少しでも楽しめることを意識したプログラムといたしました。参加延人数82組(5月7月9月11月1月3月)、月平均13組。事業開始4年目。参加した親子に必要時、地区担当保健師や他の相談等を紹介しました。 <p>【保育所等・地域連携担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆技術の習得や向上を目指し支援の場に活かすことを目的に実技研修を実施し、対面方式で16名が参加しました。 ◆「子どもの成長や発達における玩具の役割～子どもの遊びの世界を広げるには～」をテーマに講演会を開催しました。新型コロナウイルス感染症防止の観点から会場及びオンラインのハイブリッド方式採用し、18名が参加しました。 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子どもとの関わり方が分からない母親は育児によって母親自身の時間が束縛されるとの思いが強い。そのため、子どもとのふれ合い遊びを伝えることで、育児の楽しさを母親自身で感じ母児の絆が深まり、児の発達を促すことにもつながっています。 <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子どもとのスキンシップを実践しながら、「育児の楽しさや子どもの小さな変化などに気づくことができました」、「家でできることなので良かった」など好意見が多く聞かれました。 <p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子育て家庭への関わり方について、対面で実施できたことで、具体的な技術の取得や、相談対応ができ、支援者のスキルアップに繋げることができました。 <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「実践的な内容で、各々が運営する事業に役立てることができる」、外部講師による講義においては、「専門的な視点の内容で学びが深まった」という意見をいただきました。 	3 目標をほぼ達成

【基本目標1】－【基本方針1 情報提供の拡充】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況(令和4年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標1】 区民一人ひとりが参加する地域づくり	【基本方針1】 情報提供の拡充	障害	3 地域における精神保健福祉の普及啓発	【高齢・障害課】 ◆多摩区精神保健福祉連絡会議全体会を年4回、講演会(年1回)は「ひきこもり講演会 周囲の人がよき応援団であるためにできること」をテーマとし、会場・オンラインを併用して事前申込により開催いたしました。100名ほどの事前申込をいただき、当日は会場・オンライン合わせて、83名の方が参加されました。	【区役所の評価】 ◆会場・オンラインを併用して開催したことで、会場での参加が難しい方でメンタルヘルスに関して興味関心のある方にも参加していただくことができ、普及啓発を図ることができました。 【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆講師の話聞き、ひきこもり支援に限らず、日常の家族とのコミュニケーションの取り方の参考となったことや、メンタルヘルスのことについて、さらに聞きたいなどの声をいただいております、参加して良かったとの感想が聞かれました。	3 目標をほぼ達成
		地域暮らし	4 多摩区地域包括ケアシステムの普及啓発・地域情報の発信	【地域ケア推進課】 ◆川崎市多摩区地域包括ケアシステム広報誌「地ケアTAMA vol.3」(9月発行)、「地ケアTAMA vol.4」(2月発行)を各7,000部発行しました。また、配架先として、公共施設だけでなく郵便局区内12局や小田急線の区内4駅等に配架しました。 ◆区役所アトリウムで「地域包括ケアシステム」に関するパネル展示を実施しました(9月、3月)。	【区役所の評価】 ◆地域包括ケアシステムに係る自助、互助の取組を発信するため、地域活動を行う団体へのインタビューを中心とした紙面づくりを行いました。「地ケアTAMA vol.4」では、新たに区役所地域まもり支援センターに関わる相談窓口一覧を掲載しました。また、発行後、2回のパネル展示でも配架を行いました。広報誌とボールペン、ポケットティッシュ等の啓発グッズをセットにし、手に取ってもらえるよう工夫した結果、100部以上、配布することができました。 ◆2回のパネル展示では、多摩区内5地区の取組の紹介の他、広報誌「地ケアTAMA」や地域包括支援センターの紹介、健康づくりに関する掲示なども行い、多分野にわたる地ケアの取組について来庁者に広報することができました。 ◆手法や対象、発信場所等、様々な工夫を取り入れ、より多くの区民に情報発信することができました。 【連携した団体・区民等からの評価】 ◆地ケアTAMAについて、町会・自治会長宛てに3部ずつ送付したところ、「地域内のことが分かりやすく掲載されていて、町会回覧したいため、追加送付してほしい」といった意見が寄せられました。	3 目標をほぼ達成
		地域暮らし	5 健康づくりのための情報発信、講座	【地域支援課】 ◆禁煙週間(5/26～6/2)に併せてデジタルサイネージや庁内放送の活用、アトリウムの展示を行い、普及啓発を行いました。 ◆6月から熱中症予防のため、うちわやパンフレット、OS-1を配布し、普及啓発を行いました。 ◆高血圧予防の普及啓発のため、公園体操等での出前講座の実施、イベントや関係機関での展示や配布、デジタルサイネージでの放映を行いました。 ◆総務課発信のシティマップナビタ(多摩区全域地図)へ多摩区の健康づくり・介護予防に関する情報を掲載し、各公共施設や関係機関へ配布しました。	【区役所の評価】 ◆熱中症予防の普及啓発のためOS-1を384個配布しました。 ◆シティマップナビタ 4,625部、血圧手帳 2,184部、ポスター 134部の配布しました。 ◆8か所のイベントへの出店・展示を行いました。 ◆様々な媒体を用いて啓発したことで多くの方に見ていただき、資料を手に取っていただきました。 【連携した団体・区民等からの評価】 ◆イベントの参加者から「多摩区の現状を知って(高血圧に)気を付けたいと思いました」との声もあり、予防の必要性を認識していただけました。	3 目標をほぼ達成
		地域暮らし	6 快適で暮らしやすい生活環境づくりのための情報発信	【衛生課】 ◆どうぶつ愛護フェアinたま区(8月22日～9月2日)において、ペットの写真展、どうぶつにまつわる作品展、マイクロチップ啓発パネルの展示、グッズ配布等を実施しました(写真展の応募数計24件、どうぶつにまつわる作品数38件)。また動物愛護ボランティアコーナーにはボランティア作成のパネルを展示しました。 ◆昨年度作成したペット防災啓発動画をさらに編集し、配信しました。	【区役所の評価】 ◆昨年度同様に市民からペットの写真を募集し、展示しました。来庁された応募者には、加工した写真と景品を渡しました。また、今年度の新しい試みとして区内小学校や高齢者施設からどうぶつにまつわる作品を募集し、展示しました。 ◆ペットの防災動画を編集し、さらに広く市民が視聴できるよう啓発しました。 ◆ペットの飼い主はもちろん、動物にあまり関心のない方にも、親しみやすく興味を持てる情報を発信することができました。	3 目標をほぼ達成
		地域暮らし	7 地域コミュニティの活性化促進事業	【地域振興課】 ◆多摩区町会連合会にて地域コミュニティの活性化促進委員会を組織し、2回委員会を開催しました。その中で、町内会・自治会への加入促進を支援する方策について協議を行った結果、令和4年度については、子育て世代を巻き込んだ取り組みとして、加入を促進するリーフレットの作成を行いました。子育て世代へのアプローチ方法のほか、マンション自治会の運営についてもテーマを設け、研修会を実施しました。	【区役所の評価】 ◆広報媒体については、通常の加入促進とは目先を変え、子育て世代を重点的に対象とした形での作成を行い、年度末に実施した多摩区町会連合会アトリウム展示啓発や各種会議で配布して情報発信を行いました。研修会では子育て世代へのアプローチ方法のほか、マンション自治会の運営についても事例発表や意見交換を行いました。 【連携した団体・区民等からの評価】 ◆対象を絞った形での研修について概ね好評いただきました。いずれのテーマも具体的な事例を当事者が紹介し、その場で質疑応答や意見交換を行ったため、今後の自治会活動の参考になったとの声が多く聞かれました。	3 目標をほぼ達成

【基本目標1】－【基本方針1 情報提供の拡充】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和4年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標1】 区民一人ひとりが参加する地域づくり	【基本方針1】 情報提供の拡充	防災 8 防災対策啓発事業	【危機管理担当】 ◆多くの区民が災害時の備えや防災知識を習得することを目的に、楽しく災害時の行動や日頃の備えを学ぶ「防災フェア」について、令和5年1月29日、1階アトリウム及び11階で開催し、来庁者向けにパネルを展示するなど防災についての啓発を実施しました。	【区役所の評価】 ◆「防災フェア」は、多摩区自主防災組織連絡協議会主催で実施されており、パネル展示の来庁者向け案内、備蓄物資等の配布を行いました。 【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆来庁者から、「平常時からの備蓄の大切さを再認識できた」などの声をいただきました。	3 目標をほぼ達成
		9 多摩区健康フェスタ	【地域ケア推進課】 ◆健康フェスタ実行委員会(13団体で構成)を2回開催しました。 ◆新型コロナウイルス感染症拡大のため、フェスタ形式での開催を中止し、代替として、参加団体の活動紹介や健康増進への普及啓発をパネル展示、行政モニター放映、区HPへの掲載を通じて実施しました。 ※パネル展示:12団体が参加。11月25日～12月5日の期間、区役所1階アトリウム ※行政モニター放映:4団体が参加。12月1日～31日の期間、放映。 ※区HPへの掲載:12団体が参加。 【地域支援課】 ◆コロナ禍で健康に関する情報発信及び健康づくり・介護予防の取組み等をアトリウム展示で紹介しました。区民の健康意識の向上と、ウォーキングや絵本の読み聞かせ等の団体の取組みを紹介する機会となりました。	【区役所の評価】 ◆事務局として、パネル展示の参加を希望する団体の取りまとめやレイアウト等の調整を行いました。 ◆行政として、健康に関する情報発信及びアトリウムによるパネル展示での地域活動団体の紹介を行いました。 【連携した団体・区民からの意見】 ◆パネル展示実施後のアンケートでは、参加団体から「コロナ禍でイベントが中止となる中、パネル展示という手法で、情報の発信の場があることが有難い」等の御意見をいただきました。また、参加団体から、アトリウムによるパネル展示で新規参加者数の増加があったと成果報告がありました。 ◆パネル展示実施後のアンケートでは、参加団体から、「参加して多くの区民へ広報ができたことは良かった」等の御意見をいただきました。展示期間中に資料が足りなくなる参加団体もあり、多くの区民に手に取っていただけました。	3 目標をほぼ達成
		10 たまたま子育てまつり	【生涯学習支援課】 ◆「たまたま子育てまつり」を多摩区総合庁舎で開催しました(年1回、9月第3日曜日開催)。 ◆「たまたま子育てまつり」の開催にあたり、市民と行政機関で構成された実行委員会を10回、参加団体説明会を2回開催しました。 ◆子育てリーフレット「多摩区で子育て」4,000部発行しました。 ◆来場者1,500人	【区役所の評価】 ◆令和4年度は3年ぶりに、「たまたま子育てまつり」を開催しました。また、新型コロナウイルス感染症の対策として、事前申込制、午前・午後の二部制を取り、午前・午後の入替え時間にホールで、プロの演者によるパフォーマンスショーを開催しました。参加団体には三密の回避や手指消毒、手渡しをしないようなプログラムなどをお願いしました。 ◆子育て情報リーフレットを印刷し、「たまたま子育てまつり」開催中に、地域支援課と連携して子育て世帯に配布しました。 【連携した団体・区民の評価】 ◆実行委員会から「コロナ感染症の流行以降、初めての開催でしたが、様々な工夫や新しい試みができて良かったです」、参加団体や来場者からも、「久しぶりに子どもを連れて楽しく過ごせた」という感想をいただきました。	3 目標をほぼ達成
		11 多摩ふれあいまつり	【生涯学習支援課】 ◆「多摩ふれあいまつり」を多摩区総合庁舎で開催しました(年1回、6月第2日曜日開催)。 ◆「多摩ふれあいまつり」の開催にあたり、第21回多摩ふれあいまつりの実行委員会を10回、参加団体担当会議を5回開催しました。 ◆来場者約3,500人	【区役所の評価】 ◆区内障害者施設、ボランティア団体、障害者本人・家族等が協力して、障害のある人への理解を深めるために開催しました。当事者、ボランティア、実行委員等が協力して取り組み、多くの来場者があり、地域のネットワークづくりを促進するイベントになりました。	3 目標をほぼ達成
		12 パサージュ・たま	【地域ケア推進課】 ◆「パサージュ・たま」を多摩区役所1階アトリウムで開催しました(年22回開催)。 ◆多摩区ソーシャルデザインセンターで、「パサージュ・たま」参加団体の作品の常設展示・販売を本格実施しました(4月1日～)。 ◆パサージュ・たま運営委員会に広報部会を立ち上げ、広報誌を7,000部制作(隔年)し区内各所(障害者施設、私鉄4駅、郵便局等)に配架・配布しました。 ◆「パサージュ・たま」運営委員会を年2回開催しました。 ◆参加団体やパサージュ・たまの紹介動画を製作しました。	【区役所の評価】 ◆今年度から原則月2回(8月を除く)開催しました。障害をお持ちの方も意欲と活力をもって参加しており、来庁者からも好評を得ています。 ◆多摩区ソーシャルデザインセンターでの常設展示・販売を本格実施したことで、参加団体の展示・販売機会を確保し、さらなる障害への理解と関心を深めることができました。 ◆広報誌について、表紙の絵をパサージュ・たま参加団体の利用者に描いていただいたことで、温かみのある手に取ってもらいやすい広報誌となりました。 ◆制作した映像について、令和5年度以降、多摩区YouTubeチャンネルや「パサージュ・たま」開催日にアトリウムにて放映して活動の周知を進めることで目的の達成に大きく近づくと考えます。 ◆パサージュ・たまを知った障害者関連事業所から参加の申出があり、うち1事業所が参加団体として新規加入することが決定しました。 【連携した団体・区民評価】 ◆参加団体から、「多くの方々に製品に限らず、施設や地域のことに興味を持っていただき、お話をさせていただいて楽しく販売できました」との御意見をいただきました。 ◆紹介動画の取材をした参加団体から、「作品だけではなく、自分たちの日頃の活動を発信できたことがうれしい」との意見をいただきました。	2 目標を上回って達成

【基本目標1】－【基本方針1 情報提供の拡充】、【基本方針2 地域で活躍する人材の育成】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和4年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標1】 区民一人ひとりが参加する地域づくり	【基本方針1】 情報提供の拡充	13 多摩区スポーツフェスタ	【地域振興課】 ◆川崎市多摩スポーツセンターなどを会場とし、令和5年3月12日に第10回多摩区スポーツフェスタを開催しました。	【区役所の評価】 ◆本イベントは、誰もが参加できるスポーツ体験事業として、地域の団体を構成員とする実行委員会形式で毎年実施しているものです。実行委員会を中心に企画立案を進め、パラリンピック種目のブラインドサッカーをはじめ16種目22体験教室を行ったほか、区内を活動拠点とする一輪車クラブによるオープニングセレモニーを行いました。スポーツに取組む機会を提供する目的に加え、地域の活動を知ってもらう機会や住民同士の交流を促進する一助となったと考えます。 ◆今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として事前申込制で実施しましたが、定員数に近い参加者が集まり、それぞれが複数の種目を楽しむなど、事業の目的と安全な開催を両立することができたと考えます。	3 目標をほぼ達成
		14 子育て支援者養成事業	【地域ケア推進課】 ◆全9回にわたる子育て支援者養成講座を会場受講と録画受講を併用して実施しました(12月10日～2月28日 受講生合計32名)。 ◆地域活動団体での実習を実施しました(地域の寺子屋事業・多摩区でプレーパークをやっちゃおう会 参加者1名)。 ◆地域活動団体の紹介冊子を作成し全ての受講生に郵送しました。	【区役所の評価】 ◆新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらの開催となりましたが、様々な年齢層の多くの区民が受講できる環境を整えることができ、地域活動団体で実習も行うことができました。	3 目標をほぼ達成
	【基本方針2】 地域で活躍する人材の育成	15 中高生職場体験	【保育所等・地域連携担当】 ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保育園での職場体験の受入れは中止し、公立保育園の地域支援スペースで、2名の受け入れを実施しました。	【区役所の評価】 ◆新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、希望者を受け入れ、希望する内容で体験してもらうことができました。	3 目標をほぼ達成
		16 健康づくりを担う人材の育成	【地域支援課】 ◆健康づくり・介護予防を担う地域の人材育成のため、食生活・健康づくりなどのボランティア養成講座を4日間1コースで開催しました。10名の参加があり、食生活改善推進員は9名の養成となりました。 ◆地域活動を担うボランティアの方向けの学習会ではフレイル予防をテーマに年1回開催しました。当初20名の予約枠を設けましたが予約開始後すぐに埋まったため25名に増やしました。予約25名、当日21名の参加がありました。	【区役所の評価】 ◆養成講座3日目には実際に活動しているボランティアの話を聞くことでボランティア活動を身近に感じられるようにしました。 ◆学習会は予想以上に反響があり、市民が興味を持てるテーマ設定ができました。今後はボランティア不足の現状を踏まえ養成講座参加後の動向確認のため養成講座参加者も含め、ボランティア学習会をボランティア養成講座参加者に周知していきます。	3 目標をほぼ達成
	【基本方針2】 地域で活躍する人材の育成	17 認知症に関する普及啓発	【地域支援課】 ◆多摩区公立小学校14校を対象にした認知症サポーター養成講座、多摩区公立中学校7校を対象にした認知症講演会を計画しました。令和4年度小学校認知症サポーター養成講座は13校、中学校認知症講演会は4校で実施しました。住民向け認知症サポーター養成講座については9か所で実施しました。認知症サポーター向けのフォローアップ講座については、家族の会へ講師を依頼し実施しました。	【区役所の評価】 ◆新型コロナウイルス感染症拡大への懸念もありましたが、地域資源等へのアプローチを行い、住民向け認知症サポーター養成講座を9か所での実施につなげることができました。小学校、中学校についても昨年度よりも実施学校が増えたことは次年度以降につながる成果であると考えています。次年度以降も小学校、中学校での普及啓発と合わせて、住民向けの認知症サポーター養成講座等の開催を行い、効果的な普及啓発活動を継続していきたいと考えています。	3 目標をほぼ達成
		17 認知症に関する普及啓発	【地域支援課】 ◆多摩区公立小学校14校を対象にした認知症サポーター養成講座、多摩区公立中学校7校を対象にした認知症講演会を計画しました。令和4年度小学校認知症サポーター養成講座は13校、中学校認知症講演会は4校で実施しました。住民向け認知症サポーター養成講座については9か所で実施しました。認知症サポーター向けのフォローアップ講座については、家族の会へ講師を依頼し実施しました。	【区役所の評価】 ◆新型コロナウイルス感染症拡大への懸念もありましたが、地域資源等へのアプローチを行い、住民向け認知症サポーター養成講座を9か所での実施につなげることができました。小学校、中学校についても昨年度よりも実施学校が増えたことは次年度以降につながる成果であると考えています。次年度以降も小学校、中学校での普及啓発と合わせて、住民向けの認知症サポーター養成講座等の開催を行い、効果的な普及啓発活動を継続していきたいと考えています。	3 目標をほぼ達成
			【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆知らない人と協力し楽しめ、仲良くなることができました。 ◆親子で楽しめたほか、新たな発見もありました。 ◆参加者がどのようなスポーツを体験したいのかなど、実行委員会で情報を集め今後のより良い開催につなげていきたい。		
			【連携した団体・区民等の意見】 ◆受講生から、「子育てに関する仕事をいずれしたいと、以前より思うようになった」、「体系的に知識を学ぶことで、自信を持って活動を行えると感じた」といった御意見をいただきました。		
			【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆養成講座の参加者から、「ボランティアのイメージが変わった」「地域で何か始めてみたいと思う一歩になった」といったボランティア活動への興味や意欲を感じられるアンケート結果が得られました。 ◆学習会の参加者からは「参考になった」や「楽しかった」「ボランティアが不足している」などの感想がありました。		
			【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆住民向け認知症サポーター養成講座、認知症サポーター向けフォローアップ講座において参加者に向けたアンケートを実施しており、認知症への理解や参加者自身の生活場面でどのような行動や支援ができるのかを考える機会になったとの感想を多数いただきました。学校向け認知症サポーター養成講座についても、認知症の理解ができたこと、参加した生徒自身の高齢の家族への接し方について考える機会になったとの感想をいただきました。		

【基本目標1】－【基本方針2 地域で活躍する人材の育成】、【基本方針3 地域活動への支援】

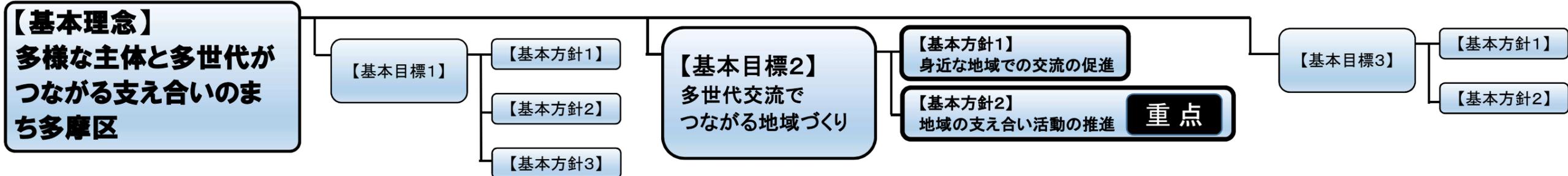
基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況(令和4年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標1】 区民一人ひとりが参加する地域づくり	【基本方針2】	防災	18 地域防災力強化に向けた取組	【危機管理担当】 ◆「災害に強い街」の実現のために、次世代の防災リーダーとして活躍が期待される子育て世代への取組が必要であることから、子どもとその保護者が興味を持って気軽に参加しやすいプログラムを取り入れた「防災・減災インドアキャンプ」を令和5年3月4日に実施しました。	【区役所の評価】 ◆今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、WEBでの実施としました。多くの親子の参加があり、若い世代の地域防災力の向上が図られました。 【連携した団体・区民等からの評価】 「防災・減災インドアキャンプ」終了後、参加者にアンケート調査を実施し、回答者全員(15名)が今回のイベントに参加してよかったと回答していました。	3 目標をほぼ達成
	【基本方針3】 地域活動への支援	子ども子育て	19 多摩区こどもの外遊び交流事業	【地域ケア推進課】 《主催イベント》 ◆生田小学校下校庭「竹あそび水あそび」を開催しました(7月24日開催 191名参加)。 ◆生田小学校下校庭「思いっきり外遊び」を開催しました(11月27日開催 249名参加)。 《共催イベント》 ◆「二ヶ領用水の魚つかみ」を開催しました(9月4日開催 約100名参加)。 ◆「凧づくり、凧揚げ」を開催しました(1月9日開催 168名参加)。 《人材育成》 ◆「工作教室」を開催しました(6月11日開催 交流委員8名、かわさき外遊びネットワーク2名参加)。 《広報業務》 ◆「たまたま子育てまつり」に出展しました(9月18日)。 ◆リーフレット「思いっきり外遊び！」を6,000部発行しました。 ◆その他啓発事業、活動支援事業などを実施しました。	【区役所の評価】 ◆多摩区こどもの外遊び交流委員会の事務局として、物品貸出等の外遊び団体の支援を通じ、地域活動を活性化させることができました。 ◆新型コロナウイルスの感染拡大により昨年度実施できなかった魚つかみについて、2部制にするなど対策を講じたうえで実施することができました。 ◆新たにかわさき外遊びネットワークと工作教室を開き、外遊びに係る交流を実施しました。 【連携した団体・区民等からの評価】 ◆多摩区こどもの外遊び交流委員会の委員から、「子どもたちが道具を持参して遊び方を見つけている様子を見て、イベントが定着していることが伺えた」、「自分も子どもと同じように遊んでしまうくらい楽しめた」等の御意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成
		障害	20 患者・家族会等のグループ支援	【高齢・障害課】 ◆毎月1回年12回実施することで計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況から8月、9月及び12月の3回は、中止としました。 ◆家族を対象とした家族教室は、精神障害当事者・精神障害者を抱える家族・地域の支援者をお呼びし、親亡き後をテーマに11月に実施しました。また、家族会は年2回実施しました。	【区役所の評価】 ◆患者を対象としたデイケアでは、新型コロナウイルス感染症の感染状況から中止になった月はありましたが、患者のリハビリテーションとなるような様々なプログラムを実施しました。 ◆家族教室は、精神障害当事者、精神障害者を抱える家族、地域の支援者及び参加者で意見交換も行ったことで、それぞれの立場での理解につながり、有意義なものとなりました。また、家族会は、意見・情報交換を参加者間で行ったことで家族同士の交流と支えの場となりました。	3 目標をほぼ達成
		高齢者	21 老人クラブ育成事業	【高齢・障害課】 ◆区老人クラブ連合会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、3年ぶりの開催となった演芸大会をはじめ、スポーツ大会、ゴルフ大会、ペタンク大会、ゲートボール大会、体力測定、いきいき体操、ダンスまつり等の健康づくりや趣味の作品展等のいきいきづくりに取り組みました。区や各地域包括支援センターでは、各種活動の周知に協力しました。	【区役所の評価】 ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、年間行事を計画どおりに実施することができました。それぞれの活動を通じて高齢者のいきがいと健康づくりが図られ、介護予防につながることでできました。 ◆区や各地域包括支援センターでは、地域において重要な役割を担っている老人クラブが継続的に活動できるよう、いきいき体操への参加や行事等の周知協力等を通じて会員増強運動を支援しました。 【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆老人クラブ加入者からは、演芸大会が3年ぶりに開催できた喜びの声とともに、今後も感染防止に留意しながら、趣味の活動をはじめとした様々な活動を継続していきましょう、という声がありました。	3 目標をほぼ達成
		地域暮らし	22 健康づくりと地域参加	【地域支援課】 ◆「多摩区みんなの公園体操」は32か所、「多摩区いきいき体操」は20か所にて実施しました。「多摩区地区ウォーク」は2つの地域で実施しました。地域活動団体に向けて、年に数回活動支援や健康に関する普及啓発を行っています。 ◆いこい元気広場を区内7か所で実施しました。 ◆上記活動については、チラシやシティマップナビタ(多摩区全域地図)にて活動を周知しました。身近な地域で気軽に参加できるよう普及啓発を実施しました。	【区役所の評価】 ◆行政としては、身近な地域で活動に参加していけるよう各関係機関と連携し、市政だよりや総務課発信のシティマップナビタ(多摩区全域地図)への掲載、チラシを活用した広報の実施を行いました。また自主活動グループへの参加や地域に出向いた健康に関する普及啓発を行いました。 【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆地域活動団体からは、地域活動ボランティアの高齢化やコロナ禍での運営として大変な面もあるが、生きがいづくりや地域の見守りの場にもなっているとの評価がありました。	3 目標をほぼ達成

【基本目標1】－【基本方針3 地域活動への支援】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況(令和4年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標1】 区民一人ひとりが参加する地域づくり	【基本方針3】 地域活動への支援	地域暮らし	23 多摩区食生活改善推進員連絡協議会の支援	<p>【地域支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地区定例会に年36回、運営委員会に年12回出席し、講話や情報提供のほか、会員とともに活動内容の検討を行いました。養成教室未受講者に定例会等に参加してもらい、活動体験を通して興味を持っていただくことができました。 ◆会員独自では、日本食生活協会からの委託事業を調理を伴わない方法で実施しました。昨年度まではレシピ配布が殆どでしたが、汁物の塩分測定を交えた啓発を行うことができました。そのほか、男性料理教室及び地域の高齢者会食会への従事、公園体操・いきいき体操、乳幼児健康診査での啓発、パネル展示等で幅広い世代に普及啓発を行いました。年37回、延べ557名へ啓発することができ、昨年度と比較し、大幅に増加しました。 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆コロナ禍により、会員の地域活動への意識が低下していたため、啓発内容を一緒に検討する機会を増やし、会員の啓発活動を増加させることができました。会員作成のレシピを区役所で開催した食育キャンペーンや健康フェスタ等で配布し、食生活改善推進員連絡協議会と連携した食育の推進を行うことができました。 ◆定例会などを実施し、定期的集まることや、行政から情報提供を行うことにより、自助・互助の意識を高めることができました。 <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆会員から、「減塩の資料を作成し、QRコードで見られるようにしたい」等オンラインを活用した啓発をしたいという意見が挙がりました。令和5年度については、会長から地域活動に力を入れたいとの意見もあり、普及啓発のための媒体づくりを行う予定です。 	3 目標をほぼ達成
			24 多摩区町会連合会等の支援	<p>【地域振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆町内会・自治会に対する地域住民の理解と関心を深め、様々な住民の参加とつながりを促進する活動に取り組み、複数の町内会自治会の意見交換の場を提供して要望事項の検討や協議を行いました。 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域住民からの要望事項を検討し、地域課題の解決に取り組みました。様々な町内会・自治会の取り組みを共有し、活動の活性化を促進することができました。 <p>【連携した団体・区民等からの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆町内会・自治会ごとの活動内容の紹介や意見交換も活発に行われ、その後の活動の参考になったとの声が多くありました。 	3 目標をほぼ達成
		防災	25 自主防災組織への運営支援	<p>【危機管理担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆各自主防災組織連絡協議会の訓練等の活動に対して、「川崎市地域防災活動促進助成金」を支給しており、41件の申請がありました。 ◆各自主防災組織が、地域での自主防災活動を目的とした防災資器材を購入する場合に、「川崎市自主防災組織防災資器材購入補助金」を支給しており、28団体が利用されました。 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆会議等において、「令和4年度活動支援ガイド」を配布し、左記2つの制度のほか、自主防災組織が防災活動を行う上での支援等について説明を行いました。 	3 目標をほぼ達成
		その他	26 多摩区コミュニティ施策 区域レベル取組推進事業	<p>【企画課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組を効果的に推進するため、多摩区ソーシャルデザインセンターの運営組織と締結した協定に基づいた運営支援(行政情報の提供、広報支援、組織体制の強化に係る支援等)を実施しました。 ◆「多摩区におけるソーシャルデザインセンター開設案」及び協定に基づく開設以降の取組を振り返りながら、令和5年度以降のより良い取組のあり方を検討する評価・検証を実施しました。 <p>《運営組織による主な取組は以下のとおり》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆多摩区ソーシャルデザインセンター事務所にスタッフを配置し、相談受付を実施しました。 ◆地域活動を行っている団体に対する補助事業である多摩区地域コミュニティ活動支援事業(多摩区まちのひろば活動支援資金)を実施しました。1件10万円を上限として募集を行い、令和4年度は5事業を選定しました。 ◆事務所でのイベントを通じた人材発掘や地域人材の情報登録受付による人材バンクの構築に向けた取組を行いました。 ◆地域の交流促進に向けたイベントを開催しました(「登戸・たまがわマルシェ」、「登戸・たまがわ運動会」等)。 ◆地域イベントへの参加・協力を行いました(「生田緑地⇄多摩川ピクニックラリー」、「登戸まちなか遊縁地」等)。 ◆コロナ禍の中で「パサージュ・たま」が規模を縮小して実施している状況を受け、出展団体への支援としてSDC事務所での作品の常設展示・販売を本格実施しました。 ◆フードドライブに係る活動への協力を行いました(企業からの相談を受け食品を地域の施設等に寄贈)。 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「多摩区におけるソーシャルデザインセンター開設案」に掲げられた基本的機能に沿って、多様な主体の連携により、交流促進や地域活性化をはじめ、区民中心の運営組織主体の様々な取組が実施されました。 <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和5年度以降の多摩区におけるソーシャルデザインセンターのより良い取組のあり方を検討する評価・検証を実施し、多摩区内の町内会・自治会等地域団体等の方から、地域団体との関係構築の推進を求める意見や運営組織あり方等について意見がありました。 	3 目標をほぼ達成

【基本目標1】－【基本方針3 地域活動への支援】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和4年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標1】 区民一人ひとりが参加する地域づくり	【基本方針3】 地域活動への支援	27 市民活動支援事業	<p>【地域振興課】</p> <p>◆多摩区内の市民活動団体等が自主的・自立的に発展していくための支援を行う拠点として、多摩区役所及び生田出張所内に「多摩区民活動・交流センター」を設置し、年間を通じて会議室や印刷・作業スペースを提供するとともに、登録団体から構成する運営委員会を年8回行い、同施設の運営の検討を行ったほか、全体会を年1回開催し、団体間の交流、相互支援を促進しました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により市民活動が自粛・停滞しましたが、印刷機の印刷枚数は回復傾向にあり、昨年度比では約55万枚から約66万枚に増加しました。また、利用登録団体数についても210団体から220団体に増加していることから、本事業が市民活動の支援につながっているものと考えられます。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <p>◆運営委員からは、印刷枚数が増加していることを歓迎する一方で、新規登録団体において印刷機や会議室の使用方法が分からないことを理由とする事務局への問い合わせが一定数あることから、利用説明会の実施の必要性が挙げられています。</p>	3 目標をほぼ達成
		28 磨けば光る多摩事業	<p>【企画課】</p> <p>◆他事業との整理・統合を含めた見直しを行うため、令和4年度以降、事業を休止しました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p>	3 目標をほぼ達成
		29 市民自主学級・市民自主企画事業	<p>【生涯学習支援課】</p> <p>◆市民団体が提案した企画事業(2事業)を行政と協働で実施しました。</p> <p>《学級》</p> <p>○たま親子学級～子育て＝親育ち～ 8月30日～9月27日(全5回) 参加者:延べ62人</p> <p>《企画事業》</p> <p>○地域の居場所づくりを目的としたカフェ運営講座と運営 5月10日～3月7日(講座3回、カフェ10回) 参加者:延べ177人</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆企画運営する側の市民団体と受講者が同じ目線で課題を共有し、問題解決に向けて話し合うことができました。行政としては、資金を委託料として提供したり、効果的な広報方法や会計処理など講座がスムーズに運営できるように支援しました。</p> <p>◆今後も市民力の向上と地域のコミュニティ形成の活性化に努めていきます。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <p>◆親子学級について、主催団体から「講座づくりは苦勞でしたが、自分たちの聞きたいこと、目指していたものができてよかった」との感想をいただきました。</p> <p>◆カフェ運営については、参加者から「そこに行けば誰かに会える」「こんな場を待っていた」という声をいただきました。主催団体からは、コロナ禍の中でも、地域の「居場所」、人と人が出会い、話せる、交流できる場所をつくる目標に少しは近づけたかなと思うといった感想がありました。</p>	3 目標をほぼ達成



【基本目標2】－【基本方針1 身近な地域での交流の促進】

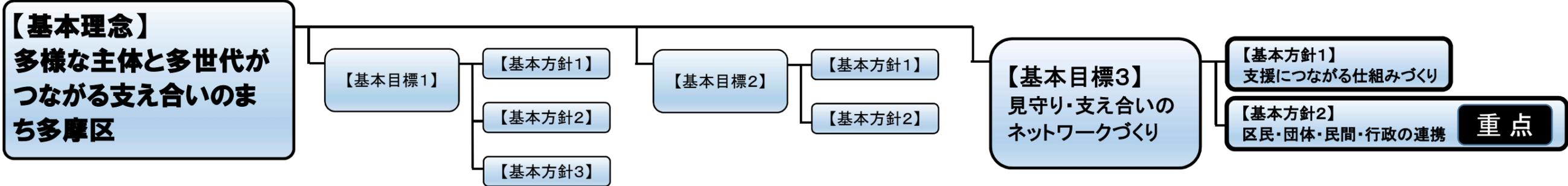
基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和4年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度		
【基本目標2】 多世代交流でつながる地域づくり	【基本方針1】 身近な地域での交流の促進	子ども子育て	30 子育てサロン・子育てひろば	<p>【地域支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆多胎児の親子を対象に「ぶよぶよザウルス」を年11回(12月のみ休み)の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止やキャンセルがあり、年9回実施しました。毎月3～4組程度の参加者がいます。 ◆35歳以上の初産婦対象に「このとり」を年11回(12月のみ休み)予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月・9月は中止しました。参加者は年87組、平均9.6組が来所しました。 ◆近隣に住む親子の情報共有や交流を目的として、子育てサロン「長沢ママ'sサロン」を年4回、「長尾親と子の広場」を年10回で開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月、9月は中止しました。 <p>【保育所等・地域連携担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆登戸、宿河原、生田エリアの3か所で毎月開催を予定していましたが、生田地区は希望がなかったため、計14回開催、102名が参加しました。子育て中の母親同士が知り合える場となり、特に宿河原地区は子育て支援センター等が近くにないため、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら8月を除き1年を通して開催しました。 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「ぶよぶよザウルス」「このとり」「長沢ママ'sサロン」「長尾親と子の広場」に参加することで、区内で子育てをしている親同士で支え合いながら、安心した育児ができるように支援しました。 <p>【連携した団体・区民等の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆参加者から親同士の交流できる場が少なくなっている中で、開催している所を探して参加したとの声がありました。対面にて、会の参加者と交流できて良かったとの感想が聞かれました。 	3 目標をほぼ達成	
			31 子育てひろば・外国人の子育てひろば	<p>【生涯学習支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「子育てひろば」就学前の子どもと親が自由に交流するフリースペースを実施しました(毎月第2・4火曜午前)。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定期的な換気や手指の消毒等の徹底した対策を講じ、15回開催しました。参加者:延べ341組685人。 ◆「外国人の子育てひろば」外国人の親子が自由に交流するフリースペースを11回開催しました(毎月第2金曜午前)。定期的な換気や手指の消毒等の徹底した対策を講じました。参加者:延べ63組128人。 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子育て支援ボランティアグループの協力のもと、通年で開催しているため、広く区民に知られるようになりました。刻々と変化する新型コロナウイルス感染症の状況下、徹底した三密対策を講じながら、安心して参加できる親子の居場所になりました。今後も人と地域のつながりを大切にする交流の場所の提供に努めます。 <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆参加者からは、対面で会話、交流できる喜びの声が多くありました。 		3 目標をほぼ達成
			32 身体測定・遊びの広場	<p>【保育所等・地域連携担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆公立保育園主催の遊びの広場は、オンラインとのハイブリット開催で290名が参加しました。 ◆身体測定はニーズが高く、対面開催の際には各園で実施し好評を得ました。 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆感染対策にも配慮しながら、親子で楽しく遊べる場を提供し、子育て力の向上につなげることができました。 ◆保育士、栄養士、看護師といった専門職による育児相談・講座や、親子遊びの紹介、手作りおもちゃの紹介等は、家庭で子育てに悩む保護者や、年齢に適した関わりをしたいという保護者に好評を得ています。 <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆参加保護者から、家での育児に行き詰まる方の情報収集の場となったり、子育ての悩みを専門家に相談できることで安心感を得られる、といった意見がありました。 		

【基本目標2】－【基本方針1 身近な地域での交流の推進】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和4年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	
【基本目標2】 多世代交流でつながる地域づくり	【基本方針1】 身近な地域での交流の促進	子ども子育て	33 多摩区子育て支援パスポート事業	<p>【地域ケア推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「多摩区子育て支援パスポート」を2,153枚発行しました。協賛登録数(11商店会、71協賛店、3公共施設)、 ◆協賛店の確認、協賛店ガイドの更新を行いました(3月 3,500部)。 ◆多摩区子育て支援パスポートカードの改訂を実施し、発行しました(3月2,000部)。 ◆事業の普及啓発として、「たまたま子育てまつり」や「長沢Autumn Festa」に参加し、パスポートカードを「たまたま子育てまつり」で24件、「長沢Autumn Festa」で69件発行しました。また、普及啓発イベントとして、「キッズフリマたまにわ」を開催し、パスポートカードを21件発行しました。 ◆利用者及び協賛店における「多摩区子育て支援パスポートカード」の利用状況並びに事業の実施における課題等を把握し、今後の子育て支援パスポート事業の推進に向けた基礎資料とすることを目的にアンケートを実施しました。協賛店から24件、協賛店以外の店舗から34件、利用者から383件の回答を得ました。 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆多摩区商店街連合会と当事業の普及啓発に向け、意見交換を行い、各商店街でのイベントに参加したり、地域で活動している団体と連携した新たなイベントを実施しました。 ◆多摩区子育て支援パスポートカードの利用状況等を把握するためのアンケートを実施し、事業の課題の把握を行い、見直しに向けて多摩区商店街連合会と意見交換を行いました。 <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆各商店街のイベントでの普及啓発や、地域で活動されている団体と連携した新たなイベントを実施するなど、感染症対策を施しながら、当事業の普及啓発に取り組めたという声をいただきました。 	3 目標をほぼ達成
		障害	34 障害者と地域住民の交流の場「障害者社会参加学習活動」	<p>【生涯学習支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆多摩市民館障がい者社会参加学習活動「青年教室」として、全10回の活動を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として活動時間を短縮し、時間帯・日付を分けて活動を行いました。個人の活動は8回、打合せを7回実施しました。 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域のボランティアの方々と企画し、青年メンバーの社会参加を支援できました。生きがいづくり、人と人との交流促進と顔の見える活動を通じ学習機会の提供を行いました。 <p>【連携した団体・区民等からの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆感染症対策をしたうえでバスハイクなど外での活動など実施でき、参加者やボランティアから喜びの声がありました。また、活動時期と区役所の工事期間が重なり慣れない場所での活動があったとの意見がありました。 	3 目標をほぼ達成
		地域暮らし	35 地域のサロン等への支援	<p>【地域ケア推進課・地域支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆おもちゃやマットの消毒、参加人数制限等新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながらサロンを開催しました。 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象者が安心・安全に参加できるようボランティアの方と話し合いながら新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しサロンを開催しました。サロンの開催に際して不安が強い方には個別に対応し支援を行いました。 ◆各地域子育て支援センターで出前講座を行うことで、参加者同士で育児の悩みを共有し、近隣親子との交流により地域への関心を持てるようサポートを実施した。 <p>【連携した団体・区民等からの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆出前講座について、参加者から評価が高く、子育て支援センターから年1回ではなく年2回にしてもらえないかと要望がありました。 	3 目標をほぼ達成
		地域暮らし	36 既設公園リフレッシュ事業	<p>【道路公園センター 整備課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆三田第2公園管理通路整備工事(管理通路の新設)を実施しました。 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆工事にあたり、公園管理運営協議会と調整を図りながら事業を実施しました。協議会等の管理の促進に貢献しています。 	3 目標をほぼ達成
		37 多摩区・3大学連携事業	<p>【企画課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「多摩区・3大学連携協議会」の取組を通して、大学と地域の交流促進を図るとともに、地域の課題解決に向けた取組を行うため、以下の事業を実施しました。 ・大学・地域連携事業の実施 ・大学生の地域参加促進事業(たまなび)として各種プログラムの実施及びInstagramを活用した情報発信の実施 ・情報誌たまなびnewsの発行(1回) ・2022多摩区3大学コンサート～水と緑と学びのまち～の実施 ・3大学協議会(3回)、たまなびnews編集会議(1回)の実施 	<p>【区役所の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対面での取組に加え、オンライン(Zoom会議やYouTubeチャンネル、Instagram等)を活用しながら、大学生の地域参加につながる取組や地域の課題解決に向けた取組を実施することができました。 <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「大学生の地域参加促進事業」では、地域の方との交流を通じ、多摩区の魅力の発見や、普段の学生生活では得ることのできない地域密着型の活動に携わることができたとの意見がありました。 	3 目標をほぼ達成	

【基本目標2】－【基本方針2 地域の支え合い活動の推進】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和4年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標2】多世代交流でつながる地域づくり	【基本方針2】地域の支え合い活動の推進	38 地区カルテを活用した地域づくり	【地域ケア推進課】 ◆多摩区地区カルテの定期更新を行いました(3月)。 ◆多摩区地区カルテのホームページ公開しました(3月)。 ◆共通フェイスシートのホームページ公開しました(4月)。	【区役所の評価】 ◆各地区の地域づくりワークショップ等において、議論のきっかけとする材料として、地区カルテ共通フェイスシートを活用しました。また、庁内職員を対象とした地域づくり勉強会等においても、同資料を活用して各地区の地域特性などについて、情報共有を行いました。引き続き、住民と地域の概況や課題を共有するためのツールとして活用を検討していきます。 【連携した団体・区民等からの評価】 ◆地区カルテを配布している民生委員児童委員から地区カルテの共通フェイスシートについて、イラストやグラフを使い、視覚的に捉えやすく工夫しており、見やすいとの御意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成
		39 地域包括ケアシステムの推進 地域暮らし	【地域ケア推進課】 ◆区内を5地区に分けて、各地区の地域特性に応じた取組を実施しました。 《登戸地区》 のぼりとミーティング 7月6日 第1回開催 11団体、15名出席 3月1日 第2回開催 21団体 21名出席、一般参加2名 《菅地区》 地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～ 6月30日 キックオフ会開催 17団体、24名出席 7月29日 第1回会議Part-1開催 16団体、18名出席 9月7日 第1回会議Part-2開催 5団体、6名出席 11月10日、15日、21日、28日、30日 現地ツアー実施 5コース20箇所 2月24日 第2回会議 18団体、19名出席 《中野島地区》 中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会 6月27日 第1回会議開催 11団体、17名出席 7月25日 第2回会議 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アンケート調査に変更) 12月18日 中野島こ文・つながり愛防災フェス開催(共催) 2月20日 第3回会議開催 14団体、23名出席 ◆2月20日、21日「シニアの方も！初めてのかんたんスマホ講座」を実施しました。神奈川県「新しい生活様式におけるコミュニティ再生・活性化モデル事業」を活用し、計49名が参加しました。 ◆地域の「居場所」探し！「つながり」探し！をテーマに市民館との共催で地ケアフォーラム×生涯学習交流集会を開催しました。紹介団体参加も含み130名が参加しました。 ◆庁内の連携体制推進に向けて、区役所職員を対象に「地ケアって？」研修会を5月27日に開催しました。19名が参加しました。	【区役所の評価】 ◆登戸地区、菅地区及び中野島地区では、様々な主体の参加のもと、それぞれの地区のネットワークの維持や目的の明確化に向けた取組を行うことで、参加団体同士の交流を促し、より一層基盤の安定を図ることができました。 ◆「シニアの方も！初めてのかんたんスマホ講座」を開催することにより、デジタルツール活用による情報格差問題の改善が図られました。 ◆地ケアフォーラム×生涯学習交流集会を開催することにより、地域デビューのきっかけづくりを提供することができました。 【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆のぼりとミーティングの参加者から、「今後も定期的にやってほしい」「小さなコミュニティ内のつながりはとても貴重だと思います。こういう機会は、是非継続していただきたいです」との御意見をいただきました。 ◆地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～の参加者から、「今回のプロジェクトで初めて接点があった方(団体・機関)がたくさんいて、とても有意義でした」との御意見をいただきました。 ◆中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会の参加者から、「こども文化センターと協力した防災イベントについて、協議会として開催していきたい」との御意見をいただきました。 ◆地ケアフォーラム×生涯学習交流集会の参加者から、「県外から越してきて、地域とのつながりがなかったため、地域の活動を知るよい機会になりました」「今日の講演や他の色々な活動を知り、とても勉強になった」との御意見をいただきました。 ◆「シニアの方も！初めてのかんたんスマホ講座」の参加者から、「スマホは持っているが、使い方がわからず写真を撮るばかりだった。教え方が上手で楽しみながら参加できた」との御意見をいただきました。	2 目標を上回って達成
		40 地区社会福祉協議会との連携	【地域ケア推進課】 ◆上記No.39の各地区における取組参照。	【区役所の評価】 ◆登戸地区の「のぼりとミーティング」、中野島地区の「中野島多世代つながり愛プロジェクト」協議会、菅地区の「地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～」に各地区社会福祉協議会に参画していただき、各地区の現状や課題等について情報共有を行うなど、連携を図ることができました。 【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆中野島地区社会福祉協議会から「中野島地区での防災フェスの取組を通して、こども文化センターや区役所等と連携し、中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会の周知や防災意識の向上を図ることができました」との御意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成



【基本目標3】－【基本方針1 支援につながる仕組みづくり】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和4年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標3】 見守り・支え合いのネットワークづくり	【基本方針1】 支援につながる仕組みづくり	高齢者 41 ひとり暮らし等高齢者見守り事業	【高齢・障害課】 ◆介護保険サービス等を利用していない新たに75歳になったひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の高齢者等を対象に、郵送による生活状況調査を行いました。また、郵送での調査に回答がなかった方には、民生委員児童委員が訪問して再調査を行いました。なお、今年度は事業スケジュールの変更があったため、民生委員児童委員による再調査は3月末からの実施となりました。 ◆調査後は、個人情報保護に配慮しながら、回答内容を民生委員児童委員と共有して日頃の見守り活動に活用するほか、必要に応じて地域包括支援センターと連携し、孤立等のリスクのある高齢者の早期発見・実態把握や支援につなげるなどの活用を図ることとしました。	【区役所の評価】 ◆今年度の調査は昨年度に引き続き郵送で実施しました。今年度は民生委員児童委員の一斉改選があり、初めて協力いただく方も多かったため、地区の民生委員児童委員協議会に出席して調査方法について説明を行い、協力をお願いしました。その結果、円滑に調査を実施することができました。 ◆調査後は、回答内容を活用して、個人情報保護に配慮しながら、民生委員児童委員や地域包括支援センターと連携し、見守りや支援が必要な方への相談につなぐことができました。	3 目標をほぼ達成
		防災 42 災害時要援護者避難支援制度	【危機管理担当】 ◆川崎市災害時要援護者避難支援制度に登録した方、登録抹消した方の情報を、該当する自主防災組織に送付しました。	【区役所の評価】 ◆個人情報に配慮し、適切に送付しました。	3 目標をほぼ達成
		地域暮らし 43 川崎市地域見守りネットワーク事業	【地域ケア推進課】 ◆通報件数3件(内訳:在宅確認3件 ※令和4年1月1日～12月31日)	【区役所の評価】 ◆住民の異変に係る事業者からの通報に、迅速に対応するなど、異変が生じた際の早期の状況確認について、事業者及び関係課と連携を図ることができました。	3 目標をほぼ達成
		44 民生委員児童委員の活動支援	【地域ケア推進課】 ◆令和4年度は3年に一度の一斉改選があり、推薦区会を7回開催し、年度内に219名を委嘱し、新任民生委員児童委員研修会と退任式を開催しました(3月末時点で欠員24名/定員242名)。 ◆一斉改選の依頼及び欠員地区解消のため、町会連合会での説明、依頼文の送付、電話での状況確認等を行いました。 ◆活動支援の一環として、市民向けに市政だよりへの記事掲載(令和4年5月号区版)、地ケア広報誌への記事掲載(vol.3 9月発行)、地ケアパネル展示に民生委員紹介パネル・パンフレットの設置(9月12日～16日、3月13日～17日)を行いました。 ◆市民からの相談や依頼があった際には、内容に応じて民生委員児童委員と情報共有しました。	【区役所の評価】 ◆区内の町内会・自治会等に候補者の推薦を依頼し、前回の一斉改選よりも4名多い217名を12月1日に委嘱することができました。また、欠員区域のある町内会・自治会等に候補者の推薦依頼を行ったことで、2名を3月1日に委嘱し、欠員を補充することができました。 ◆新任民生委員児童委員研修会の開催や、市民からの相談・依頼に適切に対応することで、民生委員児童委員の活動が円滑に行えるように支援することができました。 ◆様々な媒体を活用した広報を行い、幅広く民生委員児童委員活動への関心や理解を深めることができました。	【連携した団体・区民等からの評価】 ◆地ケア広報誌や市政だよりの掲載内容について、広報誌を見た方や民生委員児童委員の方から、分かりやすいと好評をいただきました。

【基本目標3】－【基本方針2 区民・団体・民間・行政の連携】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和4年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標3】見守り・支え合いのネットワークづくり	【基本方針2】区民・団体・民間・行政の連携	子ども子育て	<p>【地域ケア推進課】 ◆子ども総合支援連携会議を6月2日に開催しました。各団体から取組状況の報告、子ども未来局企画課から「子ども・若者調査分析及び子ども・若者未来応援プラン」について説明していただきました。 ◆子ども子育て支援講演会を12月22日に開催しました。子ども・子育て支援地域連携事業と合同で開催し、「スマホ依存！？ネット・ゲーム・スマホにはまる子どもたち」をテーマにオンライン(Zoom)及び会場のハイブリッド形式で開催しました。区内保育園、小中学校、社会福祉法人、行政職員など29人が参加しました。</p>	<p>【区役所の評価】 ◆子ども総合支援連携会議を通じて、コロナ禍での事業の実施状況や今後の取組、アイデア等の情報収集、行政から調査結果や計画の説明をし、子育てに関わる機関・団体と共有しました。 ◆子ども子育て支援講演会のテーマについては、子ども総合支援連携会議の議題とし、テーマを選定しました。引き続き、会議等を通じて地域団体の連携を深め、地域全体で子育て支援を推進していきます。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆会議の出席者から「各団体の現状や行政が行っている事業の詳細が分かってよかった」などの感想をいただきました。 ◆講演会の参加者から「1つの機関だけが頑張るのではなく、困っている方を連携して支えていく大切さを改めて考える事が出来ました」などの感想をいただきました。</p>	3 目標をほぼ達成
			<p>【地域支援課】 ◆区代表者部会は「地域ネットワークによる支援のあり方を考える～グループワークを通して～」をテーマとした全2回の講座を行いました。第1回(9月12日、26名参加)は施設長や管理職向け、第2回(11月7日、26名参加)は実務者向けにグループワークを含めた講演会を行いました。 ◆連携調整部会は、児童相談所と区役所が参加し毎月1回実施しました。うち年3回は多摩区内の全要対協ケースについての確認を行いました。</p>	<p>【区役所の評価】 ◆区代表者部会では、昨年度に引き続きコロナ禍でしたが、感染対策を徹底した上で、参加者からの要望の多かったグループワークを組み込んだ講演会を実施することができ、連携をより強化することができました。 ◆連携調整部会では、進行管理の方針変更に伴い、ケース支援に滞りがないよう確認および情報共有をより強化することができました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆参加者から「情報共有のあり方、各機関の専門性をいかした支援のあり方について理解が深まりました」「講演会を受けて日々の業務の振り返りができました」「多くの機関との連携のあり方について整理できました」「グループワークを盛り込んだ講演会を今後も行ってほしい」などの御意見をいただきました。</p>	3 目標をほぼ達成
			<p>【保育所等・地域連携担当】 ◆5月～2月の参加者498名、3月は全区のコンサートを開催し、147名が参加しました。主任児童委員には、可能な範囲で参加を呼びかけ、12月からは、全地区で保育園職員も参加し実施しました。例年地区ごとのミニコンサートを開催していましたが、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した広い場所の確保と費用対効果を考え、令和4年度は特例的に3地区合同で設定して実施しました。</p>	<p>【区役所の評価】 ◆15組までの予約制で実施しました。参加した地域の親子からは地域の親子の交流の場となり、継続して参加したいと好評を得ています。</p> <p>【連携した団体・区民等からの評価】 ◆協力団体からは、地域の様々な目で見守ることができる事業で、参加者の相談に各々の専門とする知識や、回答したことを支援者間で共有できること、参加者が民間保育園の地域支援事業や民生委員児童委員の運営する子育てサロンに参加する等、地域の子育て家庭が遊びに行ける場所を広げることができ、有効な子育て支援事業であると評価されています。</p>	2 目標を上回って達成
			<p>【保育所等・地域連携担当】 ◆区内公立小学校14校のうち2校で保育所等の職員による授業参観及び対面での意見交換会を実施し、小学校における卒園児の様子を参観し、幼保小連携について意見交換をすることができました。残る12校については、オンライン形式によって、小学校1年担任や児童支援コーディネーターと幼稚園、保育所等の年長児担任が意見交換会を実施し、幼保小連携について意見交換をすることができました。 ◆実務担当者連携連絡会をオンライン形式で2回(6月、1月)実施し、それぞれ「なぜ幼保小接続は必要なのか」、「幼保小接続を円滑にするために必要なこと」というテーマの講話を受けたあと、小学校を中心とする地区別のグループに分かれてテーマについて幼保小の意見交換ができました。</p>	<p>【区役所の評価】 ◆コロナ禍において、一部小学校で対面での授業参観及び意見交換会が再開できたことは評価できます。 ◆幼保小の実務を担当する1年担任と年長児担任が1つのテーマについて意見交換を実施していることは、円滑な幼保小接続のために大きな意義があると考えます。</p> <p>【連携した団体・区民等からの評価】 ◆幼稚園、保育園から「コロナ禍で中止していた意見交換会が再開できたことは大きな前進だと思います。今後、全面的な対面交流や児童、生徒の交流など、「従前」程度の交流再開を希望します」との御意見をいただきました。 ◆小学校から「幼保小接続を重要視しており、今後更に交流が再開できることを期待しています」との御意見をいただきました。</p>	3 目標をほぼ達成

【基本目標3】－【基本方針2 区民・団体・民間・行政の連携】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和4年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度
【基本目標3】見守り・支え合いのネットワークづくり	【基本方針2】区民・団体・民間・行政の連携	子ども子育て 49 民営保育所・保育施設等への訪問・連携	【保育所等・地域連携担当】 ◆区内ほぼすべての園に職員が訪問しました。エリアの公立園を拠点として、民間保育園への訪問を行い、顔の見える関係を築きました。 ◆オンラインを利用して年齢別懇談会や公開保育を公立園が主催して実施し、後半は新型コロナウイルスの感染状況をみながら見学も受け入れ、直接支援も行うことができました。	【区役所の評価】 ◆コロナ禍で、対面での制限がある中で関係構築を進めることができたと考えています。 ◆公立園が中心となって、地域の保育園との連携が図れており保育の質の向上に貢献したと考えています。 【連携した団体・区民等からの評価】 ◆訪問した保育所等の職員から、コロナ等感染症への対応をはじめとした、国や市の方針や通知について相談ができ、アドバイスを受ける身近な存在であるとの御意見をいただきました。 ◆講座を実施した保育所等の職員から、栄養士や看護師の常勤職員がいない園や経験の浅い園では、出張講座によって専門的知識のスキルアップに繋がったとの御意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成
		障害 50 多摩区地域自立支援協議会	【高齢・障害課】 ◆企画運営会議、相談支援調整会議は、予定どおり行うことができました。地域包括支援センターと障害者相談支援センターとの連絡会(年1回)、相談支援事業所連絡会(年2回)を実施し、他分野、関係機関との顔の見える関係づくりに、また、昨年度書面開催となった定例会は、オンライン開催とし、多くの区内の障害関係者が出席され、地域自立支援協議会の取組に対して意見をいただくことができました。	【区役所の評価】 ◆企画運営会議、相談支援調整会議、地域包括支援センターと障害者相談支援センターとの連絡会(年1回)、相談支援事業所連絡会(年2回)及び定例会を実施したことで、行政・関係機関が連携して地域課題の検討、解決に向けての取組ができました。	3 目標をほぼ達成
		51 多摩区精神保健福祉連絡会議	【高齢・障害課】 ◆多摩区精神保健福祉連絡会議全体会を年4回、講演会(年1回)は「ひきこもり講演会 周囲の人がよき応援団であるためにできること」をテーマとし、会場・オンラインを併用して事前申込により開催いたしました。100名ほどの事前申込をいただき、当日は会場・オンライン合わせて、83名の方が参加されました。	【区役所の評価】 ◆会場・オンラインを併用して開催したことで、会場での参加が難しい方でメンタルヘルスに関して興味関心のある方にも参加していただくことができ、普及啓発を図ることができました。	3 目標をほぼ達成
		52 地域ケア会議(個別ケア会議・地域ケア圏域会議)	【高齢・障害課】 ◆地域包括支援センターでは、高齢者が地域で安心してその人らしい生活を継続するため、区、介護支援専門員、サービス事業者及び医療機関等の参加による個別ケア会議を計32回、地域ケア圏域会議を計8回開催し、高齢者本人や御家族が抱える課題に応じ、様々な社会的資源を適切に活用できるよう取り組みました。	【区役所の評価】 ◆会議を主催する地域包括支援センターでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い対面での会議が困難な中、書面会議やオンライン会議での開催に努め、包括的・継続的ケアマネジメント支援に取り組みました。また、区では、各種会議への参加を通じて個別ケースの課題分析や地域課題を把握、地域包括支援ネットワークの構築に取り組みました。	3 目標をほぼ達成
		53 多摩区相談支援・ケアマネジメント推進委員会	【高齢・障害課】 ◆区では、4月、5月及び3月にそれぞれオンライン形式にて介護支援専門員連絡会と地域包括支援センターの参加による推進委員会を計3回開催しました。 ◆3月の第3回推進委員会は、近年増加している高齢者虐待への対応をテーマとした研修形式で開催しました。	【区役所の評価】 ◆区では、オンライン会議の積極的な導入により、年間計画どおりに推進委員会を開催しました。また、健康福祉局主催の連絡会議や地域包括支援センター主催の調整会議の中で、行政・関係機関が連携して地域課題の検討、解決に向けて取り組むことができました。 【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆3月の第3回推進委員会の参加者からは、初期対応の流れや各機関の役割を理解でき有意義でしたなどの御意見や感想が聞かれました。	3 目標をほぼ達成
		54 多摩区地域包括支援センター連絡会議	【高齢・障害課】 ◆区では、区内の各地域包括支援センターとの情報共有の場である連絡会を、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった12月の1回を除き、毎月1回、計11回開催しました。	【区役所の評価】 ◆区では、区内の各地域包括支援センターとの緊密な連携体制の構築を目指して、12月を除く毎月1回、連絡会議を開催しました。地域包括支援センターが抱える課題を共有し解決に向けた検討を行い、高齢者支援施策の推進を図ることができました。	3 目標をほぼ達成
		55 認知症訪問支援事業	【高齢・障害課】 ◆区では、医師会、訪問看護事業者、介護支援専門員連絡会及び地域包括支援センターを構成員とするチーム員会議を7月と10月の計2回開催し、関係機関の連携により2名の個別支援を行いました。なお、当初予定していた残り4回は、新規の支援対象者がいないため不開催としています。また、支援対象者の掘り起こしに資するよう、市民向けチラシを窓口配架するなどの周知を行いました。	【区役所の評価】 ◆区では、医師、保健師、看護師、介護支援専門員等の専門職が、認知症が疑われる人やその家族支援を包括的、集中的に行い自立のサポートを行い、認知症の初期対応の強化に取り組みました。 【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆チーム員の一部からは、支援対象者を増やすために手続書類を簡略化してはどうかなどの意見があり、これを受けて、区は市に対し改善提案を行いました。	3 目標をほぼ達成

【基本目標3】－【基本方針2 区民・団体・民間・行政の連携】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(令和4年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	
【基本目標3】見守り・支え合いのネットワークづくり	【基本方針2】区民・団体・民間・行政の連携	高齢者	56 多摩区在宅療養推進協議会(チーム・たまの活動)	【高齢・障害課】 ◆区は、医師会、病院・診療所、介護支援専門員連絡会、地域包括支援センター、介護サービス事業所等で構成される区在宅療養推進協議会に計4回出席し、在宅医療・介護連携を推進するための情報共有や令和5年7月に開催予定の市民シンポジウムの企画検討を行いました。	【区役所の評価】 ◆区では、在宅療養推進協議会の活動を通じて、高齢者が自宅や住み慣れた環境で療養できる体制づくりを目指して在宅医療・介護に係わる多職種連携の強化を進めることができました。	3 目標をほぼ達成
			57 多摩区支え合いのまちづくり推進会議	【地域ケア推進課】 ◆多摩区支え合いのまちづくり推進会議を年2回開催しました(7月19日、1月18日)。	【区役所の評価】 ◆第6期多摩区地域福祉計画とその上位概念である多摩区の地域包括ケアシステムを推進するため、地域福祉に関連する取組や地域のニーズ・課題等について各委員から意見を伺うことができました。	3 目標をほぼ達成
			58 多摩区健康づくり推進連絡会議	【地域支援課】 ◆多摩区健康づくり推進連絡会議を開催しました(9月29日、1月26日)。医師・商店街・薬剤師会・大学教授が参加し、血压手帳・ポスターを作成しました。地域で協働して配布・掲示を行いました。 ◆配布実績として、シティマップナビタ:4,625部、血压手帳:2,184部、ポスター:134部、イベントへの出店・展示:8か所。3地区で合計6日間実施。延べ参加者数139名。	【区役所の評価】 ◆多摩区の健康づくりや介護予防事業にて統一して高血圧予防テーマに取り組みました。3地区で介護予防教室を実施したほか、幅広い普及啓発により、住民へ予防行動の動機づけを行いました。 【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆商店街や薬剤師会、いきい元気広場運営事業者からは、「健康づくり、注意等に関して、情報発信の場所は多くあるが、医療に直接つながりのない団体などは家庭等向けに働きかける、関心を持たせることが必要ではないか。各団体の提案を聞いて参考になった。会議で関係が作れたことを大変ありがたく思う。」 「多摩区の高齢者の健康づくりのお手伝いできればと改めて考えることができた。」 「様々な視点、立場からの声、非常に興味深かった。自分たちに何ができるのか、常に考える視点を持って過ごしたいと思う」との御意見や御感想をいただきました。	3 目標をほぼ達成
		地域暮らし	59 多摩区食育推進分科会	【地域支援課】 ◆多摩区健康づくり推進連絡会議と連動して、テーマを「食からの高血圧予防」とし、減塩と野菜摂取量増加に取り組みました。会議を書面形式で8月、対面形式で令和5年2月22日の年2回開催しました。 (取組1)情報発信 1.区役所ホームページ「おいしい野菜レシピ」を見やすい形式にリニューアル、2.チラシ・ポスター等の啓発物配布、3.イベント講座等での啓発(6月食育月間に伴う食育キャンペーン・生活習慣病予防講座・多摩区栄養士等研修会・健康フェスタでのパネル展示) (取組2)高血圧予防講座 令和5年1月15日(日)多摩区PTA協議会1月運営委員会(参加者)区内小・中学校の保護者29名	【区役所の評価】 ◆令和4年度より新たにPTA協議会に参加していただき、働き世代にアプローチすることができました。また子どもから高齢者までの全世代に対する取組を計画することができました。 【連携した団体・区民等の評価/意見】 ◆委員からテーマについて「多摩区の健康課題である高血圧者の多さと、市の食育推進計画の「からだをつくる食育の推進」が重点目標であることを考慮すると、このテーマは良い」、また啓発内容、子どもへの働きかけ、イベント等での普及啓発、無関心層への働きかけについて意見・課題が出されました。	3 目標をほぼ達成
			60 区社会福祉協議会との連携	【地域ケア推進課】 ◆区における5地区の地域づくりの取組(No.39参照)での連携や、地域ケア推進課・地域支援課主催の5地区合同定例会において情報共有を実施しました。	【区役所の評価】 ◆地域福祉活動を進めるにあたり、区役所及び区社会福祉協議会の事業・取組について情報共有を行うなど必要な連携を図ることができました。 【連携した団体・区民等からの評価】 ◆区社会福祉協議会から、地域福祉の推進に向け、区役所と連絡調整・情報共有を図るなど連携しながら、各種事業を実施することができましたとの御意見をいただいています。	3 目標をほぼ達成
			61 関係営業施設との連携	【衛生課】 ◆食品衛生協会と協力し、食品等事業者を対象とした食品衛生講習を実施しました。 ◆食品衛生協会と協力し、食中毒予防に関するチラシを飲食店の店頭等で配布しました。	【区役所の評価】 ◆相談の傾向や影響の程度を考えながら、講習の主題を選定しました。 ◆細菌等が繁殖しやすい夏やノロウイルスの流行する冬に食中毒の予防に取り組みました。 ◆新型コロナウイルス感染症の感染防止も念頭に置いて、内容や方法を食品衛生協会と相談しながら取り組みました。	3 目標をほぼ達成
		その他	62 庁内の各種連携会議	【地域ケア推進課】 ◆区地域包括ケアシステム推進本部を開催しました(8月3日、3月15日)。 ◆区コミュニティ施策推進本部会議と連携を行い、地域包括ケアシステム推進に向けた取組などの情報提供を行いました(年4回)。	【区役所の評価】 ◆区地域包括ケアシステム推進本部において、区における地域包括ケアシステムの推進に向けた取組や区地域福祉計画について情報共有を図ることができました。 ◆区コミュニティ施策推進検討部会において、地区カルテ等について周知を図ることができました。	3 目標をほぼ達成